



本校ホームページ
携帯・スマホ用サイト
でもご覧ください。

はだかにて 生まれてきたに 何不足

校長 牧野光洋

小林一茶の句とも言われています。この世に生まれてきたときは、何も持たず丸裸だったじゃないか。それを思えば、今、生きていられるだけで何も不足はないはずだ！という意味でしょうか？10年以上昔の話になります。私の学校に新任教諭が配属されました。実に覇気のある明るく責任感の強い好青年でした。しかし、彼は時々、「えーっ！」と言うような大失敗をやらかします。先輩たちは「またー！」とカンカンに怒ります。すると「はいっ！すみません！」と大声で謝ります。聞いていて実にさわやかな謝り方。先輩たちが理由を聞くと「はいっ。自分は〜だと思いました。済みませんでした。」これもまた大声で真剣です。彼は決して怠けたり、さぼったりすることはありません。ですから、叱責途中でも、終いには先輩たちも笑いだして「こんなことも知らないのか。これはこうだよ。」と笑いながら丁寧に教えられています。私が「一番得意な事は何？」と尋ねると、「宴会を盛り上げる事ですかね。これだけは今までに一度しか負けた事がありません。」とのこと。多くの人から愛され信頼されている彼こそ、私たちが一番必要としている理想の姿なのかもしれません。私は、児童が彼のように愛され信頼される人になっていただきたいと願っています。彼の性格の一番素晴らしい事は



優



何か、何日も観察しました。その結果「素直である事」「やさしい事」、どんな時でもめげたり腐ったりせず「やる気を失わない事」の3つでした。これで誠実さも思いやりも勇気も備わっています。たとえ不器用であろうと

もあまりたいした事はありません。前述の3つさえ心がけていればどこに行っても困らない。安心できる児童に育つ事は間違いないと思います。実は、児童だけではありません。私たち大人一人一人に必要な生きる3要素ではないでしょうか。「もうだめだ。死ぬしかない。」と苦悩の穴に落ちてしまっている人がいたなら、ぜひとも教えてあげたいものです。一茶の句「はだかにて 生まれてきたに 何不足」どのような苦しきをも乗り越えられる智慧が私たちの中にある事を。死に物狂いで努力する事で必ず好転します。嘘か本当か、一人でも多くの方々に試していただきたいものです。今まで多くの方が努力によって「死中の活」を見いだしてきたのですから。この二学期たくさんの試練が待ち構えています。皆様と児童のために乗り越えてまいりたいと思います。どうぞご協力のほど賜りますようお願い申し上げます。

